

通信・放送の在り方に関する懇談会第1回会合議事要旨

- 1 日時 平成18年1月20日(金) 10:40~12:00
- 2 場所 総務省8階第1特別会議室
- 3 出席者 松原座長、久保利構成員、林構成員、古川構成員、村井構成員、村上構成員
竹中大臣、菅副大臣、古屋政務官、平井総務審議官、竹田情報通信政策局長、
清水政策統括官、須田総合通信基盤局長
- 4 議事要旨
 - (1) 大臣挨拶
 - 通信放送に関して技術が変わってきており、抜本的な議論が必要。日本の将来のため何が必要か専門家の方々に議論していただきたい。
 - 25年前はウォークマンであったが、今年のクリスマスでは iPod が人気。小さくて精巧なものは日本のメーカーが得意であったが、インターネットでコンテンツを配信するシステムに社会が対応できていない。音楽の次は映像。この分野で遅れてはならない。
 - 海外ではポッドキャストやグーグルのTV番組ネット配信、フランス版CNN創設、固定と携帯で同じ番号とするブリティッシュテレコム of の取組の動きなどがある。ユーザーにとってメリットのあることを、何故日本では実現できないのか。
 - ワールドカップサッカーがネットでは見られるのにテレビでは見られない県が出る。NTTについて改革を今後どう進めていくのか。世界市場において日本の携帯電話メーカーのシェアが驚くほど低い。ユーザーの素朴な疑問・願望に答えるべき。
 - 21世紀の日本において、放送と通信には大きな期待が寄せられている。公共性を保ちつつ新しい技術の波に対応していくという観点にたち、IT化の取組や世界に通用する産業の育成といったことも視野に入れ議論していただきたい。
 - (2) 議事の取扱い
 - 議事の取り扱いについては、会合は公開せず、懇談会終了後に記者会見を行うこと、懇談会の議事要旨、会見概要を作成し、これを公表すること及び会議資料は原則公開することとなった。
 - (3) 議事
 - 通信・放送融合の現状に関する事務局説明後、本懇談会で議論すべき事項について各構成員から意見が出された。
(主な意見)
 - ・ 通信と放送について本質の議論をすべき。役務利用放送法と著作権法の関係など法体系をどう考えていくべきか、縦、横、斜めに入り組んだ法体系の整理が重要。民放・NHKの問題、NTTの支配力の問題、行政の在り方をどうすべきか。

- ・通信・放送融合は、産業としての視点と市民社会のインフラとしての視点が重要。伝送路の融合の問題、企業組織の融合の問題、より豊かなコンテンツを作れるような環境を作れる仕組みの3点について考えるべき。
 - ・時間軸を念頭に置いて議論を進めるべき。
 - ・2000年頃策定された衛星放送の規格について反省と評価が必要。国際標準と違うものを採用した理由を検証することが必要。
 - ・iPodの表面を研磨する技術以外は、全て海外の技術。また、iPodについては、費用を払う人と使う人が別々でも構わない工夫がされている。課金の問題、コピー制御等の問題も一緒に議論すべき。
 - ・デジタル化という切り口で考えるべき。デジタル情報は、共通の方法で様々なコンテンツを伝搬させる仕組みであり、自由度が高い。数値自体は意味がないが、映像化されると知的財産権の問題が発生するので、アナログ時代と異なりそれをどう調整するかという視点が重要。
 - ・デジタル化すると周波数を共用することが容易になる。社会リソースとして電波をどう使うか検討すべき。
 - ・デジタル化によりグローバルに情報が流通することからグローバルな視点が重要。魅力あるコンテンツをマーケットに出す仕組みが必要。
 - ・放送・通信両分野の既存分野における既存サービスの構造改革とIP化により可能となる理想の融合放送の確立を車の両輪とすべき。
 - ・コンテンツ政策に重点を置くべき。消費者の要望が制作者側に伝わる仕組みが大事。
 - ・コンテンツの活用は、通信・放送の問題と関連。世界に発信することで費用を回収できる仕組みを作るためにTVとIPの融合が大事。
- 各構成員の意見を踏まえ、座長が大きな論点として、①通信・放送融合時代の法体系、行政の在り方、②NHK問題、③通信事業の在り方（NTTの組織の在り方、NTTの独占性等）、④放送の在り方（民放の在り方等）の4点をとりとまとめた。
 - テーマが相互に入り組んでいることから、一巡してから、またしっかりと全体を踏まえた上で議論をし直すことになるので、1回ごとにそれなりの方向性を示すことにはならない。
 - 業界からのヒヤリングを時間をかけて行う。
 - 本日の構成員の意見を踏まえ、座長が次回会合において本懇談会のアジェンダの整理を行う。
 - 次回は1月23日17:00から開催。NHK問題を議論。

(以上)